

内分泌・乳腺外科

スタッフ紹介



診療部長
直居 靖人
教授 (H11)
乳腺疾患・
化学療法

さかくち 晃一	准教授	(H7)	乳腺疾患全般
もりた みどり	講師	(H20)	乳腺疾患全般
かとう 千翔	助教	(H25)	乳腺疾患全般
いぐち えりか	病院助教	(H25)	乳腺疾患全般
きたの 早映	病院助教	(H27)	乳腺疾患全般
おくやま ゆうか	専攻医	(H27)	乳腺疾患全般
くまた さきこ	専攻医	(R3)	乳腺疾患全般
みずもと ひさこ	専攻医	(R5)	乳腺疾患全般
にしだ まいこ	医員	(H25)	乳腺疾患全般
まつい 知世	医員	(H27)	乳腺疾患全般
ひろたに なぎさ	医員	(H29)	乳腺疾患全般

私たちの業務

◆ 乳腺疾患のトータルケア

私たちは、乳腺に関する様々な疾患の治療に取り組んでいます。
特に乳癌治療に関しては最新のEBMを取り入れ、かつ、インフォームド・コンセントを最重視したオーダーメイド治療を目指しています。

◆ センチネルリンパ節生検 (SLNB : Sentinel Lymph Node Biopsy)

センチネルリンパ節生検は乳癌手術時の腋窩リンパ節郭清に伴う術後のリンパ液貯留、上肢の運動障害、リンパ浮腫を回避し、患者様の高いQOLを実現します。

当科では、その適応を乳癌の術前診断時の腋窩リンパ節転移陰性乳癌症例 (cN0) とし、ラジオアイソトープ法と色素法の併用によりセンチネルリンパ節を同定し、OSNA法による高精度の遺伝子レベルの転移判定を実施しています。

◆ 乳房温存手術・乳房再建術

ご病状に合わせて乳房温存手術、乳房切除術を行います。ご希望に応じてローテーションフラップ法による乳房形成、インプラントを用いた乳房再建なども実施しています。

◆ 術前・術後の内分泌療法と化学療法

エビデンスに基づいた化学療法、ホルモン療法を実施しています。トリプルネガティブ乳癌に対する免疫療法、遺伝性乳癌に対する治療も行っています。必要に応じて術前化学療法も実施します。

◆ 手術症例

	乳がん手術症例
2025年	228
2024年	212
2023年	202
2022年	178
2021年	190

外来診療担当医師予定表

令和8年5月1日現在

	月	火	水	木	金
初診・再診	直居・北野	森田・井口		阪口・西田	加藤・熊田
外来化学療法	廣谷			松井	

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
乳癌精密（二次）検診	マンモグラフィ、エコー、細胞診、 コアニードル生検、 画像ガイド下乳腺吸引術 （ステレオ・エコー）	良悪性鑑別に必要な検査は全て実施可能です。
良性疾患 ・線維腺腫 ・乳管内乳頭腫 ・乳腺症・乳腺炎	乳腺腫瘍摘出術 乳腺腺葉区域切除術 経過観察	必要に応じて切除する場合があります。 乳頭分泌を伴う病変に対して行います。
乳癌	乳房同時再建手術 センチネルリンパ節生検 乳房温存手術 全乳腺切除術 ・皮膚温存乳房切除術（SSM） ・乳輪乳頭温存乳房切除術（NSM） 乳房切除術 化学療法・ホルモン療法 再発治療	形成外科と合同で広背筋・腹直筋などの自家組織を用いた再建、インプラントを用いた再建などあらゆる乳房再建に対応いたします。 RI法＋色素法により安全に行います。 乳房を残す手術です。 乳輪・乳頭を切除する場合と温存する場合があります。 乳頭を含めて乳房を取り除きます。 乳癌の性質に合わせて治療を行います。 主として術後に実施しますが、手術前に行うこともあります。 それぞれの患者様の状況に応じて、QOLを重視した適切な集学的治療を行います。 ※すべての手術は健康保険が使えます。
乳癌全般	セカンドオピニオン （がんセカンドオピニオン外来より受付）	他院で乳癌の診断・治療を受けられた方、進行再発乳がんの治療、転院に関するご相談等承ります。

※多数の患者様のため、初診の場合でも長時間お待ちいただくことが予想されます。

お時間の余裕をもってお越しいただきますようお願いいたします。

府立医大 内分泌・乳腺外科 URL <https://www.kpumbreast.com>

救急対応 外科外来 TEL 075-251-5020（外来時間帯）
救急外来 TEL 075-251-5645・5646

